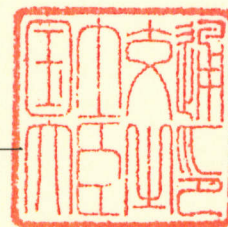


認定書

国住指第 2117 号
平成 27 年 10 月 21 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0822
2. 認定をした構造方法等の名称
ポリエチレン管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ポリエチレン管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

| 項目 | | 仕様 |
|----------------------------|----|--------------------------------|
| 開口部 | 形状 | 円形(φ182mm以下) |
| | 面積 | 0.0261m ² 以下 |
| 占積率 (開口面積に対する配管の断面積の割合) | | 47.2%以下 |
| 貫通する壁の構造等 | | ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ100mm以上 |

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

| 項目 | | 仕様 | |
|-------------|------|------------------------------|---|
| 熱膨張性シート | 表面材 | 材料 | 化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート |
| | | 寸法 | 総厚さ：6.0mm以上 幅：110mm以上 長さ：配管外周長さ×1周巻き+30mm以上 |
| | | 使用箇所 | 配管の周囲に巻き付け |
| | 表面材 | 材料 | アルミニウムテープ(裏張材：あり又はなし) 裏張材の材質：ポリオレフィン系又はガラス繊維系 |
| | | 厚さ | 0.25(±0.1)mm以下 |
| | シート | 材料 | 黒鉛含有ブチルゴム |
| | | 厚さ | 6.0mm以上 |
| | | 組成 (質量%) | |
| | 裏面材 | 材料 | あり又はなし 種類：①～⑦の一 ①ポリエチレン系樹脂 ②ポリオレフィン系樹脂 ③塩化ビニル系樹脂 ④シリコーン系樹脂 ⑤ナイロン系樹脂 ⑥不織布 ⑦アルミガラスクロス |
| | | 厚さ | 0.05(±0.03)mm以下 |
| | 充てん材 | 材料 | セメントモルタル |
| 組成 (質量%) | | 普通ポルトランドセメント 25 砂 75 | |
| 使用箇所 | | 開口部と配管との隙間(壁厚方向100mm以上密に充てん) | |

表3 配管の仕様

| 項目 | 仕様 | | | | |
|----|--|----|----------|----|----------|
| 配管 | ポリエチレン管 (JIS K 6761、JIS K 6762、JIS K 6774、ISO 4427、 日本水道協会規格：JWWA K 144、建築設備用ポリ エチレンパイプシステム研究会規格：PWA001、同： PWA005、配水用ポリエチレンパイプシステム協会 規格：PTC K 03、給水用ポリエチレンパイプ協会 規格：JP K 001) | 外径 | φ125mm以下 | 厚さ | 11.4mm以下 |

4. 副構成材料の仕様：

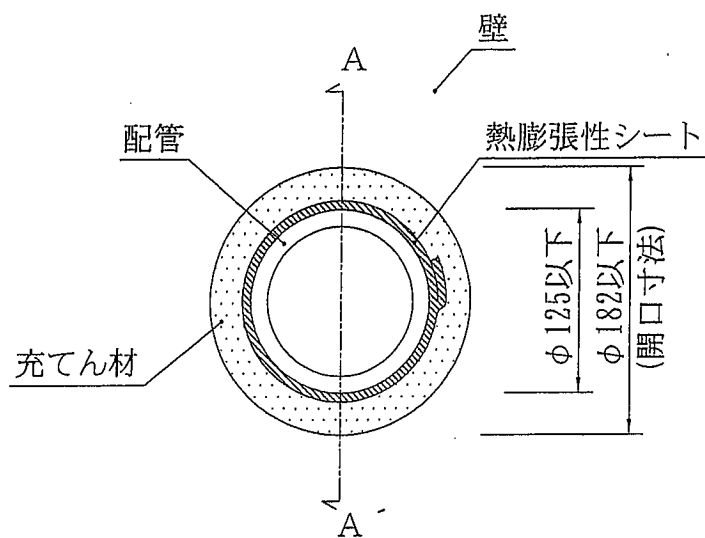
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

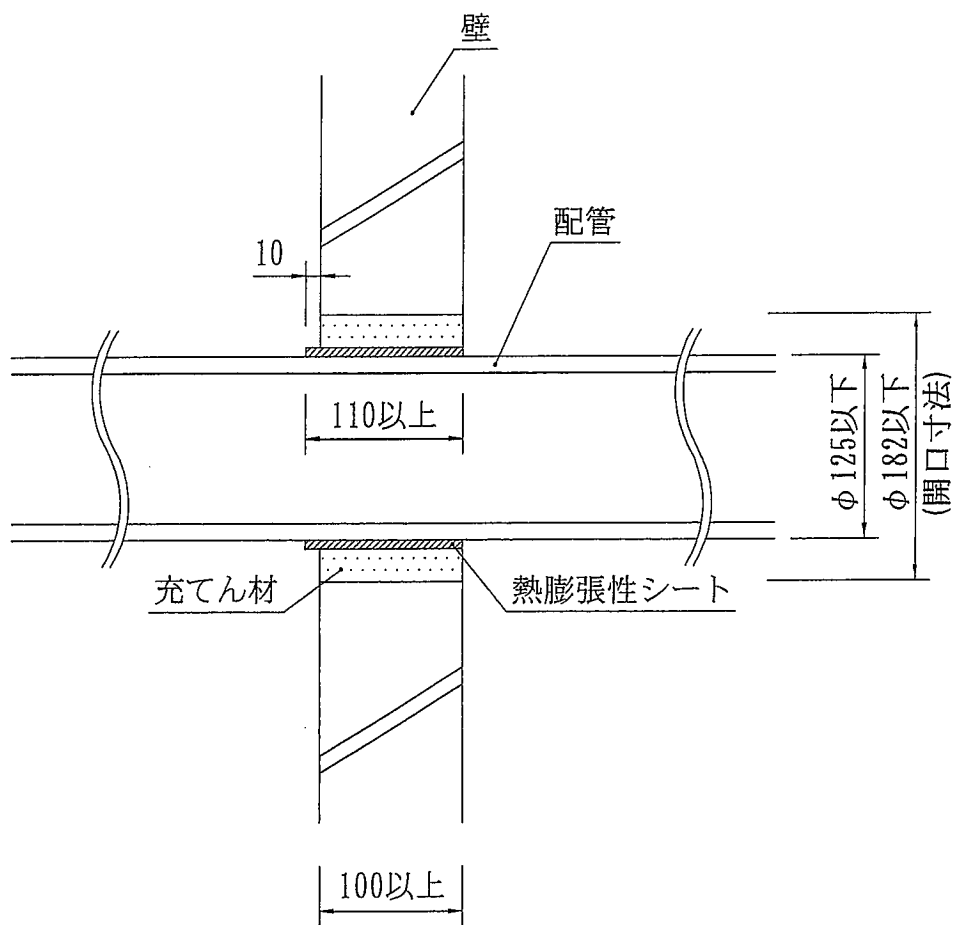
| 項目 | 仕様 | |
|----------|------|---|
| 貼合わせ用テープ | 材料 | アルミガラスクロステープ |
| | 寸法 | 厚さ0.15mm以上、幅110×長さ90mm以上 |
| | 使用箇所 | ①熱膨張性シート端部の貼合わせ箇所 ②熱膨張性シートを継ぎ足しで接合する箇所 |

5. 構造説明図：

構造説明図を図1に示す。



立面図



A-A 断面図

図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定
配管サイズ及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。
- (2) 配管の設置
配管の設置を行い、支持・固定する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け
熱膨張性シートを配管に対して1周+30mm以上巻き付けて外側貼付材部分を貼合わせ用テープにて固定する。(長さが足りない場合に合計で所定の長さとなるよう熱膨張性シートを隙間がないように貼合わせ用テープにて繋げても良い。)この時、熱膨張性シートと配管との間に隙間がないように注意し確認する。
- (4) 熱膨張性シートのスライド
熱膨張性シートを配管に沿わせて先端が壁から10mm突き出るようにする。
- (5) 埋め戻し
貫通開口部と熱膨張性シートの隙間を、100mm以上充てん材にて埋め戻しする。埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。